



KKC 一般財団法人 近畿健康管理センター

本部：滋賀県大津市木下町 10 番 10 号
TEL：077-525-3233 FAX:077-525-3900

2022 年 4 月 1 日発行

皆様へのお知らせ

環境保全等社会貢献事業への支援（寄付）実行について

「KKCソーシャルプラン」（2020 年 4 月～2021 年 3 月）活動報告

一般財団法人近畿健康管理センター（以下、KKC）は、主に企業・住民などの健康診断、人間ドック等を事業の柱としている予防医療サービス機関で、日々、地域の皆様や企業で働く方々を対象に、健康増進、早期発見など予防医療を目的として健康診断事業を推進しています。

さて、2021 年度 12 月～3 月において「KKCソーシャルプラン」として下表の寄付を実行しました。「KKCソーシャルプラン」は、事業の標準化並びに効率化等の活動によって捻出できた節減費用の一部を、各地での医学・医療に係る教育・研究や予防医療、環境保全（緑化推進・低炭素）を推進する団体等に寄付するものです。

この活動は 2008 年度から「KKC環境コミュニティプラン」としてスタートし、2014 年度から活動コンセプトを拡大した「KKCソーシャルプラン」において継続的に展開しています。寄付実行年度は 2021 年度で 13 回目となります。KKCは、事業を通じて「健康」「環境」「地域」「人財」4 つのテーマで SDGs 達成に向けた活動を展開しており、特に「KKCソーシャルプラン」では“地域活性化”に寄与すべく、本取り組みを継続してまいります。

寄贈先	寄付金額	寄付目録贈呈日・場所等
滋賀県がん患者団体連絡協議会	50,000 円	贈呈日：2022 年 3 月 30 日（水） 場 所：大津市本堅田三丁目 8-1 堅田市民センター お受取人：会長 菊井 津多子 様 寄 贈 者：KKC 代表理事 理事長 木村 隆
三重大学 大学院 医学系研究科 臨床医学系講座 脳神経外科学	100,000 円	贈呈日：2022 年 3 月 11 日（金） 場 所：三重県津市江戸橋 2-174 お受取人：教授 鈴木 秀謙 様 贈 呈 者：KKC三重事業部 理事 事業部長 伊藤 勝英
立命館大学 総合科学技術研究機構 スポーツ健康科学研究センター	50,000 円	贈呈日：2022 年 3 月 8 日（火） 場 所：滋賀県草津市野路東一丁目 1-1 お受取人：スポーツ健康科学研究センター長 教授 田畑 泉 様 贈 呈 者：KKC 代表理事 理事長 木村 隆
（滋賀県） 滋賀応援寄附	100,000 円	贈呈日：2021 年 12 月 22 日（水） 場 所：大津市京町四丁目 1 番 1 号 滋賀県庁 本館 3 階 総合企画部長室 お受取人：総合企画部長 川崎 辰己 様 贈 呈 者：KKC 代表理事 理事長 木村 隆

※上記以外に、寄付目録は贈呈しておりませんが、（三重県 津市）津市緑化基金に対し 2022 年 2 月 18 日に 100,000 円を寄付致しました。

※寄付目録贈呈の様様、及び 2020 年度の「KKCソーシャルプラン」の具体的活動内容は次頁に記載しています。

<お問合せ先>

総合企画本部 CS推進G：太田

TEL:077-525-5412 FAX:077-525-3384 e-mail:m_ota@zai-kkc.or.jp



【寄贈先】 滋賀県がん患者団体連絡協議会



【寄贈先】 三重大学大学院



【寄贈先】 立命館大学



【寄贈先】 (滋賀県) 滋賀応援寄附

「KKCソーシャルプラン」（2020年4月から2021年3月）の具体的活動内容について

2020年度の「KKCソーシャルプラン」では、前年度の活動内容を継続し、『健診準備物及び健診結果の直送納品の推進』、『健診事前配付物、自動封入・封緘の推進』、『健診情報、問い合わせ削減』、『イレギュラーの削減』の4項目について、以下の取り組みを行いました。

- ①『健診準備物及び健診結果、直送納品の推進』は、営業担当を経由せずに健診等の準備物や結果物をお客様に直接送付することで、健診結果物の早期納品とKKC内での業務効率化、そして営業車両の消費する化石燃料使用量の削減を図り、環境影響負荷低減及びコストを削減する取り組みです。
- ②『健診事前配付物、自動封入・封緘の推進』は、健診事前配付物の封入・封緘作業を手作業から自動封入・封緘機処理への移行を促進することにより、手作業で要した労務コストの削減、健診事前配付物の納品早期化、標準化作業による作業精度の向上に繋げる活動です。
- ③『健診情報、問い合わせ削減』は、健診結果処理等に係る健診情報について、KKC内の部門間やお客様に対する問い合わせ件数を削減することにより、問い合わせとその回答に要する環境影響（紙資源の使用量等）と労務コストの削減、そして健診結果発行の早期化に向けた取り組みです。
- ④『イレギュラーの削減』は、健診実施前から健診結果をお客様に納品するまでに、KKC内の要因にて生じるイレギュラー的な作業や対応（健診結果や請求書の再発行等、及びその発生原因や再発防止対策の検討や策定等の事後対応）を削減しようとするもので、これらに要する労務コストの抑制、そして紙資源や電力の抑制による環境影響の低減に繋げる活動です。

KKCは、これらの社会貢献に繋がる当活動の趣旨を、お客様にご協力を得ながら予防医療サービスを進め、地域社会へ貢献してまいります。